

遠野市監査委員告示第7号
平成26年7月7日

地方自治法第199条第4項の規定に基づく補助金等の監査を実施したので、同条第9項の規定により、その結果を別紙のとおり公表します。

遠野市監査委員	佐藤 サヨ子
遠野市監査委員	佐々木 資光
遠野市監査委員	荒川 栄悦

平成26年度補助金等監査結果報告書（平成25年度支出分）

1 監査の期日及び対象

監査は、平成26年5月26日から6月18日までの間に延べ5日間実施した。なお、事前書類審査は5月21日と23日に実施した。

監査の対象は、平成25年度に支出した補助金、負担金・交付金、貸付金等（以下「補助金等」という。）とした。

監査対象の決定については、担当課等に次の条件で資料の提出を求め、提出された215件のうち次表の20件を監査した。

- (1) 補助金については、1件の金額又は同一補助金で交付団体が複数のときの総額が概ね50万円以上のもの
- (2) 負担金及び交付金については、50万円以上のもので財政的援助を目的として支出したもの

【監査した補助金等】

期 日	担当課等	補助金等の名称（交付先等）	交付金額
5月26日(月)	商工観光課	遠野市商工振興事業補助金（遠野商工会）	8,190,000円
		遠野市中心市街地活性化事業費補助金（遠野商工会）	3,900,000円
		遠野市観光事業振興補助金（一般社団法人遠野市観光協会）	14,000,000円
		遠野型観光PR推進委員会負担金	7,650,000円
5月28日(水)	馬事振興課	遠野馬の里運営事業費補助金（一般社団法人遠野市畜産振興公社）	70,741,882円
	環境課	遠野市リサイクル促進事業費補助金（遠野市公衆衛生組合連合会）	5,800,000円
	農家支援室	わさびブランド確立支援事業費補助金（一般社団法人遠野わさび公社）	7,300,000円
		遠野農業元気アップチャレンジ事業補助金（一般社団法人遠野わさび公社、花クラブTYE、わらすっこ農園、とおの菌床しいたけ加工グループ、遠野畑わさび研究会、遠野たばこ育苗研究会、(株)遠野牧場、(農)宮守川上流生産組合、クレソン研究会、遠野市たばこ青年部）	7,502,000円
6月2日(月)	林業振興課	遠野市スクラムかみへい復興住宅支援事業費補助金（協同組合森林のくに遠野・協同機構）	1,705,172円
		平成25年度岩手県森林・林業再生基盤づくり交付金（遠野地方森林組合）	13,680,000円
		遠野市森林・林業再生基盤づくり交付金（遠野地方森林組合）	8,360,000円
	子育て総合支援課	遠野市母親クラブ等運営費補助金（市内母親クラブ11団体）	3,210,000円
6月4日(水)	文化課	遠野物語研究事業等振興補助金（特定非営利活動法人遠野物語研究所）	2,000,000円

期 日	担当課等	補助金等の名称(交付先等)	交付金額
6月4日(水)	生涯学習スポーツ課	財団法人遠野市教育文化振興財団自立支援補助金(財団法人遠野市教育文化振興財団)	3,430,000円
	市民協働課	消費者救済資金貸付金	17,000,000円
	長寿課	敬老会負担金(20件)	1,717,600円
6月18日(水)	環境課	早池峰国定公園地域協議会一般会計負担金	610,000円
		早池峰国定公園地域協議会特別会計負担金	130,000円
	商工観光課	一般国道283号道の駅「遠野風の丘」非常用電源設備工事に係る費用負担金	11,970,000円
	地域振興課	遠野市めがね橋周辺賑わい創出事業補助金(宮守郷土芸能保存会、めがね橋ふゆ物語実行委員会、めがね橋復興応援三陸コンサート実行委員会、めがね橋「絆」作戦実行委員会)	400,000円

2 監査の実施率

項目	補助金	負担金 交付金	貸付金等	合計
交付件数 (各課等の報告件数)	104件	100件	11件	215件
監査件数	12件	7件	1件	20件
監査実施率	11.5%	7.0%	9.1%	9.3%

3 監査の視点

補助金等に係る交付決定の事務及び支出事務の執行状況に関し、次の手順及び視点で監査を行った。

- (1) 監査対象項目に係る諸帳簿等の提出を求め、担当職員等から説明を受けた。
- (2) 法令に違反していないか、規則や要綱等に基づいて処理されているか、金員の用途は交付の趣旨に合致しているか、援助による効果等について監査した。

4 監査の結果

補助金等に係る事業の公益性や補助事業者の適格性などを審査したところ、公益上必要と認められる事業・団体等に支出されており、交付目的や補助金等の対象事業の内容等も明確になっている。

また、関係法令、要綱等への適合性、算定方法の妥当性や交付時期の適正性及び実績報告の整合性と完了確認、額の確定といった補助金等の決定及び交付に関わる事務についても、概ね適正に処理されている。

ただし、一部の補助金交付要綱において、事業費補助金なのか運営費補助金なのか、目的が明確ではない事業が見受けられたことから、できるだけ事業成果がはつき

りわかるように補助金交付要綱を見直すとともに交付団体等に対する更なる指導、助言等を担当課に期待する。

事務処理上の軽易な誤りや不備な事項については、その都度関係職員に対して口頭で改善又は検討するよう述べたので、本書への記述を省略する。

監査対象とした補助金等の個別の監査結果については、次のとおりである。

○遠野市商工振興事業補助金（遠野商工会）

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

この補助金は、商工会の調査指導事業に従事する専任職員の設置費、商工団体の商工業振興又は育成指導事業に要する対象経費、商工会が設置する中小企業相談所の運営費、商工団体が主催する臨時的商工振興事業の経費等の10分の5以内の額を補助金として交付することで商工業の振興を図る事業であるが、継続が前提となる経営支援事業部門と成果を前提とした地域総合振興事業部門とに分けて、助成内容の見直しを進め、事業効果をより明確にすることを期待する。

○遠野市中心市街地活性化事業費補助金（遠野商工会）

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

この補助金は、みずきびな作成講習会、中心市街地活性化協議会の運営・情報発信事業、通行量調査、遠野町家のひなまつりの実施、商店会が行なう賑わい創出に係るソフト事業、街角ギャラリー推進事業、空き店舗改修費助成事業、空き店舗家賃助成事業、ファサード改修事業（店舗等の正面の外観を景観に合わせて改修する事業）等に要する対象経費の10分の10以内の額を交付する事業である。当初7,000千円であったが、ファサード改修事業の希望がなかったこと等により確定額は3,900千円であったとのこと。

事務は適正に執行されていたが、関係機関、団体との連携をより密にし、「補助金予算が前提の施策実施ではなく、目的達成に必要な施策展開のための予算活用」を更に徹底し、事業効果を追及することを期待する。

○遠野市観光事業振興補助金（一般社団法人遠野市観光協会）

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

この補助金は、観光客の誘客、教育旅行の誘致活動、遠野の魅力の情報発信、観光案内及び宿泊紹介、観光ガイドの養成・手配等に要する対象経費の10分の10以内の額を補助金として交付することで観光振興を図る事業である。

遠野市の経済に大きな影響をもたらす観光客の誘致活動については、遠野市観光

協会が一般社団法人となったことで「オール遠野」体制での観光振興体制が整ったと思われることから、関係機関、団体の役割をより明確にし、共に連携した効果的な事業展開を期待する。

また、担当課において補助金交付要綱についても事業効果を追求する事業費補助金として見直しを図る必要があると思われる。

○遠野型観光PR推進委員会負担金

[指摘事項]

特になし

[意見・要望]

この負担金は、平成 21 年度に遠野型観光のPR推進を図ることを目的に9関係機関・団体で設置した委員会の負担金である。委員会は、推進事業の総合的な計画策定、企画及び運営、関係団体等との連絡調整等を行なってきたが、JR釜石線でのSL銀河の運行が決まり遠野市SL停車場プロジェクト推進本部が設置されたことに伴い、平成 26 年 4 月 25 日に解散総会を開催し解散したとのこと。

事業目的を引き継いだ「オール遠野」体制の遠野市SL停車場プロジェクト推進本部がSL銀河の定期運行を契機として、更に遠野型観光のPRを推進することを期待する。

○遠野馬の里運営事業費補助金（一般社団法人遠野市畜産振興公社）

[指摘事項]

特になし

[意見・要望]

この補助金は、遠野馬の里のホースパーク施設に係る償還金・固定資産税・管理運営にかかる経費、育成調教施設に係る償還金・固定資産税等、乗用馬育成施設に係る固定資産税、調教事業に係る経費の10分の10以内の額を補助金として交付することで市内の馬事振興と馬を活用した地域活性化を推進することを目的としている。

償還金は施設建設に係る元利償還金であり、平成 28 年度までに支払いが完了する見込みであることから自立した経営という事業目的は着実に達成されていると認められる。

○遠野市リサイクル費補助金（遠野市公衆衛生組合連合会）

[指摘事項]

特になし

[意見・要望]

この補助金は、遠野市公衆衛生組合連合会が行なうごみダイエット事業（もえるごみの減量のための啓発）、ごみ減量化事業（資源集団回収奨励金交付、ごみ減量化物品購入助成、生ごみ処理機等購入助成、地域環境美化推進事業等）の当該経費の10分の10以内の額を補助金として交付することで循環型社会の形成を促進する

ことを目的としている。

資源ごみに対する市民意識は決して高いとは言えない状況であることから、より市民を巻き込む仕掛けについても検討が必要と思われる。

○わさびブランド確立支援事業費補助金（一般社団法人遠野わさび公社）

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

この補助金は、一般社団法人遠野わさび公社の運営費に要する経費の一部を補助金として交付することで地域の特産物であるわさびの生産拡大を目的としている。

圃場整備、販路拡大等の事業に積極的に取り組んでおり、今後の期待は大きいですが、市場への通年の安定供給、量的な対応という課題解決に向け、更に情報収集を図ることを期待する。

○遠野農業元気アップチャレンジ事業補助金

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

この補助金は、市内の農業者が組織するグループや団体が行なう六次産業化の実現に要する経費、農業所得の向上のための新たな取り組みに要する経費、遊休地活用の実現に要する経費等の2分の1以内の額を補助金として交付することで生産現場提案型農業の推進を図ることを目的としている。平成25年度は、根わさび圃場再生実証事業、花き栽培点滴かん水実証事業、ヒメノモチ栽培・販売実証事業、ウコンしいたけ茶開発事業、畑わさび作付展示圃実証事業、葉たばこ栽培省力化実証事業、飼料用米活用実証事業、どぶろく事業拡大のための製造場新規導入事業、クレソン収量向上実証事業、葉たばこ収量強化事業の10事業に対し合計7,502千円の補助金が交付されていた。

農業活性化と農業所得向上につながる事業と評価できる。今後も事業の検証、事業者の指導等のアフターフォローを更に徹底していただきたい。

○遠野市スクラムかみへい復興住宅支援事業費補助金（協同組合森林のくに遠野・協同機構）

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

この補助金は、東日本大震災により被災した住宅の再建に資するスクラムかみへい復興住宅の普及活動をはじめとした活動に遠野地域木材総合供給モデル基地の総合力を発揮するため、基地内の事業体が行なう地域材の需要拡大に関する事業実施に要する経費の10分の10以内の額を補助金として交付する事業である。

補助金の交付にあたっては、担当課には協同機構の事業内容を今以上に把握し、

P D C A サイクルによって更に事業成果が上がるよう、強いリーダーシップの発揮を期待する。

○平成 25 年度岩手県森林・林業再生基盤づくり交付金、遠野市森林・林業再生基盤づくり交付金（遠野地方森林組合）

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

この交付金は、森林・林業の再生基盤となる施設・機械の整備等を推進し、森林の整備・保全の推進、林業の持続的かつ健全な発展、木材産業の健全な発展及び木材利用の推進を図るため、遠野地方森林組合が林業機械作業システム整備として導入したハーベスタとフォワーダの導入経費の100分の45相当額を遠野市を通じて岩手県が、残りの2分の1を遠野市が交付金として支援した事業である。

導入された2台の高性能林業機械の稼働実績の詳細な分析により、林業振興による経済効果や里山美林の保全につながることを期待する。

○遠野市母親クラブ等運営費補助金

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

この補助金は、市内 11 箇所の児童館ごとに組織されている母親クラブが行なう親子及び世代間の交流・文化活動、児童養育に関する研修活動、児童事故防止のための活動、児童福祉の向上に寄与する活動、日曜等児童館利用活動等の事業に要する経費に対し補助金を交付し、家庭児童の健全な育成を図ることを目的としている。

以前は岩手県の補助事業であったものを、その廃止に伴い平成 18 年度から遠野市の事業として実施しているが、運営費補助金ではなく事業効果を追及する事業費補助金とすべく要綱の見直しが必要と思われる。また、各クラブ共通の課題もあると思われることからクラブ間の情報共有を積極的に図ることによって、「子育てするなら遠野」の活動を推進できるよう更なる担当課のリーダーシップの発揮を期待する。

○遠野物語研究事業等振興補助金（特定非営利活動法人遠野物語研究所）

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

この補助金は、特定非営利活動法人遠野物語研究所が行なう「遠野物語」を中心とした遠野市の民俗文化・歴史等の調査、研究及び学習に関する事業の対象経費の10分の10以内の額を補助金として交付する事業である。

平成 7 年 4 月に設立された遠野物語研究所は、平成 14 年 11 月に法人化され、遠野物語ゼミナール、遠野学会、遠野物語教室、昔話教室の開催のほか講義集、研究

紀要等の刊行等遠野地方の民俗文化の調査研究、成果情報発信等多大な成果をあげていたが、会員の高齢化によって事業運営が困難になった等の理由により平成26年4月に法人を解散したとのこと。

補助金の有効性はおおいにあったと認められる。解散後も遠野物語研究所が存在した事実と果たした役割について全市民が意識し続けることで、遠野物語研究は今後更に進化していくと思われる。

○財団法人遠野市教育文化振興財団自立支援補助金

[指摘事項]

特になし

[意見・要望]

この事業は、平成24年10月に財団法人遠野市教育文化振興財団と財団法人遠野国際交流協会が合併して設立された財団法人遠野市教育文化振興財団が、自主的に事業を運営していくための経費に対し予算の範囲内で10分の10以内の額を補助金として交付する1年度限りの補助金である。合併記念誌発刊事務、備品購入等の事務が適正に執行されていると認められる。

平成26年2月に一般財団法人に移行し、平成26年度は自主事業として教育文化事業、国際交流事業、市からの受託事業として生涯学習事業、芸術振興事業のほか姉妹都市30周年記念イタリア・サレルノ市訪問ツアーに取り組んでいるが、遠野ならではの市民に親しまれる芸術振興事業等が更に幅広く展開されることを期待する。

○消費者救済資金貸付金

[指摘事項]

特になし

[意見・要望]

この事業は、市内に住所を有する者で消費者金融等の消費者債務の整理、消費者被害による救済及び消費者訴訟の提起等に要する資金、または生活再建資金を必要としている者に対し資金を融資する事業である。遠野市が株式会社東北銀行に預託金を預託し、株式会社東北銀行は岩手県弁護士会消費者問題対策委員会と連携して多重債務等の相談・カウンセリングを行なっている消費者信用生活協同組合に対し、4倍の協調融資を行なうことによって相談者の救済を行なっているとのこと。

市民センター内の遠野市消費生活相談窓口で消費生活相談員が相談を受付した後、必要に応じて消費者信用生活協同組合を紹介する等の対応を行なっているが、平成25年度の消費生活相談窓口での相談件数は601件であり、平成25年度末の消費者信用生活協同組合の遠野市の一般貸付が28件、生活再建資金貸付が5件とのことからも事業の必要性が認められる。

○敬老会負担金

[指摘事項]

特になし

〔意見・要望〕

この事業は、市内 20 地区で開催される敬老会の対象者（年度内に満 75 歳以上となる遠野市民）で敬老会に参加した敬老者一人当たり 800 円を負担金として主催者に交付することによって、高齢者慶祝事業の推進を図ることを目的とした事業である。平成 25 年度の施設入所者を除いた対象者は 6,336 人であるが、実際に敬老会に参加した敬老者は 2,147 人であり、参加率は 33.9%とのこと。

超高齢社会における敬老の考え方、敬老会のあり方はこれまでと違ったものになると思われるが、その対応のヒントは現在各地区で開催されている敬老会の中に存在していると思われる。については、事業報告書、収支精算書の他に会場、料理、余興等の写真の添付等を求めるなど情報の収集、分析を行い、遠野市全体で今後の敬老の考え方、敬老会のあり方を検討されることを望む。

○早池峰国定公園地域協議会一般会計負担金・特別会計負担金

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

この負担金は、早池峰国定公園の景観を守り、自然環境の保全、公園利用の適正化等を図ることによって地域の活性化を推進するため、平成 21 年度に花巻市、遠野市、宮古市、岩手県、岩手南部森林管理署遠野支署、三陸北部森林管理署、花巻観光協会、遠野市観光協会、宮古観光協会及び岩手県交通株式会社で組織した協議会の負担金である。

一般会計負担金は、早池峰山の山開き、環境美化対策事業、観光客受入対策事業、自然保護対策事業等にかかる経費について、3 市で負担している負担金である。また、特別会計負担金は、岩手県交通株式会社が 6 月上旬から 8 月上旬の土日祝祭日に運行するシャトルバスの安全対策、周知等にかかる経費を 3 市、岩手県、岩手県交通株式会社で負担している負担金である。

自然保護の重要性からも事業の必要性は認められる。早池峰山の魅力を登山愛好者をはじめ広く一般に周知し、自然環境の保全を図りながらも遠野観光振興のために関係機関・団体との更なる連携強化を期待する。

○一般国道 283 号道の駅「遠野風の丘」非常用電源設備工事に係る費用負担金

〔指摘事項〕

特になし。

〔意見・要望〕

この負担金は、平成 23 年の東日本大震災の時に防災拠点として重要な役割を果たした「道の駅」の防災機能の強化を図るため、県内にある「道の駅」30 施設のうち道路管理者である岩手県が管理している「道の駅」20 施設に非常用電源設備を整備する事業の費用負担金である。「遠野風の丘」は県内第 1 号として定格出力 150KVA の非常用電源設備、地下燃料槽 1 台（4,000ℓ）等が整備されたほかトイレ等の改修工事も行なわれた。また、県の施設である道の駅「みやもり」については、全額県

負担で整備されたとのこと。県の計画では平成26年度中に残りの施設整備をする予定とのことである。

災害時に防災拠点であった道の駅が、今後の有事に備えて更に機能強化された事業は評価できるが、防災目的の設備であることを、防災意識啓発のため一般来場者へ日常的にアピールする工夫・仕掛けについても期待する。

○遠野市めがね橋周辺賑わい創出事業補助金

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

この補助金は、観光振興及び地域活性化のためにめがね橋周辺の賑わいを創出する事業に対する補助金であり、宮守郷土芸能保存会が実施した郷土芸能共演会、めがね橋ふゆ物語実行委員会が実施した「めがね橋・光のページェント」、めがね橋復興応援三陸実行委員会が実施した「三陸コンサートⅢ in みやもりホール」、めがね橋「絆」作戦実行委員会が実施した「めがね橋SL写真・ジオラマ展」の各事業にそれぞれ補助金を交付していたが、経済効果も見られ適正な事務と認められる。

それぞれの事業（イベント）について訴求ターゲットを明確にし、事業評価をきちんと行ない、また、めがね橋周辺を起点あるいは終点とする遠野観光のストーリー設定と合わせた事業展開をすることで「恋人の聖地」であるめがね橋周辺の更なる賑わいが創出されることを期待する。